



諏訪広域連合 ～ ひびきあい みらいへ諏訪の 輪はひとつ ～

広報 すわこういき

諏訪広域連合
シンボルマーク

● 岡谷市 ● 諏訪市 ● 茅野市 ● 下諏訪町 ● 富士見町 ● 原村

Vol.91

12

December.2020

圏域市町村：3市2町1村
圏域人口：289,140人
圏域面積：715.75km²
(令和2年9月1日現在)



目次

1P…令和2年度諏訪広域防災講演会の開催案内
2P…事務局からのお知らせ
別冊…高齢者等実態調査 調査結果（見開き）
特集…介護のお仕事のホント！
3P～4P…こちら、諏訪広域消防本部

令和2年度 諏訪広域防災講演会

「荒ぶる自然災害に向かい合い、個人、地域、行政がなすべきことを考える」



令和元年東日本台風（台風第19号）は、長野県にも大きな被害をもたらしました。荒ぶる自然災害に立ち向かい、地域から災害犠牲者を出さないために、『人が死なない防災』の著者で、防災研究の第一人者の片田敏孝先生をお招きし、ご講演いただきます。



写真提供 長野県佐久市

開催日 令和3年1月30日（土）午後1時30分～

会場 茅野市民館マルチホール

講師 片田敏孝先生

東京大学大学院情報学環 特任教授 日本災害情報学会 会長

主催 岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村・諏訪広域連合



申込先

新型コロナウイルス感染症対策のため、入場人数を制限します。事前の申し込みが必要になりますので、お住まいの市町村の危機管理担当課へお申し込みください。

岡谷市 ☎ 0266-23-4811 (内線1592)
諏訪市 ☎ 0266-52-4141 (内線258)
茅野市 ☎ 0266-72-2101 (内線182)
下諏訪町 ☎ 0266-27-1111 (内線260)
富士見町 ☎ 0266-62-9326 (直通)
原村 ☎ 0266-79-2111 (内線233)

※ 左記以外にお住まいの方は、
諏訪広域連合、又は茅野市へ
お問い合わせください。

諏訪広域連合

☎ 0266-52-4141 (内線375)

片田敏孝先生プロフィール

昭和35年岐阜県生まれ。専門は災害社会工学。災害への危機管理対応、災害情報伝達等について研究し、地域での防災活動を全国各地で展開している。また、国・外郭団体・地方自治体の多数の委員会、審議会に携わり、研究成果を紹介しながら防災行政の推進にあたっている。

連載

介護のお仕事のホント！

中央ページに折込

訪問介護、デイサービスやグループホーム等で活躍されている皆さんの声をお届けします。



八ヶ岳寮だより

～創立50周年記念ねむの木植樹～

今年度、救護施設八ヶ岳寮は、創立50周年の記念すべき年を迎える中、コロナ禍で本来の生活や行事等ができない状況が続いています。その中でも、新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら、利用者と職員と一緒に昔話に花を咲かせ、皆さん汗をかきながら笑顔で植樹作業をすることができました。

これからの施設の歩みと共に、ねむの木の成長が楽しみです。



令和2年第3回諏訪広域連合議会定例会

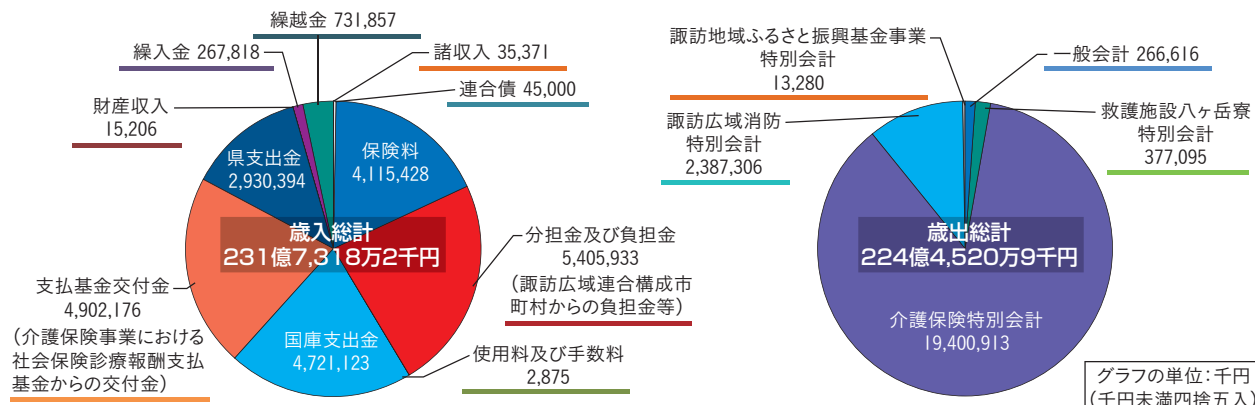
令和2年9月23日（水）から令和2年9月24日（木）までの会期で諏訪市役所議場において、令和2年第3回諏訪広域連合議会定例会を開催しました。審議結果は次のとおりです。

事件番号	件名	審議結果
承認第4号	専決処分の承認を求めるについて (令和2年度諏訪広域連合諏訪広域消防特別会計補正予算(第1号)について)	原案承認
議案第12号	諏訪広域連合介護保険法に基づく指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第13号	令和2年度諏訪広域連合一般会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第14号	令和2年度諏訪広域連合介護保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
認定第1号	令和元年度諏訪広域連合一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定
認定第2号	令和元年度諏訪広域連合救護施設八ヶ岳寮特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
認定第3号	令和元年度諏訪広域連合介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
認定第4号	令和元年度諏訪広域連合諏訪広域消防特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
認定第5号	令和元年度諏訪広域連合諏訪地域ふるさと振興基金事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
議員議案第1号	新型コロナウイルス感染症対応の介護施設等支援強化を求める意見書の提出について	原案可決



令和元年度 決算状況

令和元年度の諏訪広域連合決算額は、一般会計歳入3億1,093万4,721円で、前年度と比べて4,478万3,216円の増、一般会計歳出は2億6,661万5,696円で、前年度と比べて4,824万7,286円の増となりました。また、4つの会計（八ヶ岳寮、介護保険、諏訪広域消防、諏訪地域ふるさと振興基金事業）で構成される特別会計は総額で、歳入228億6,224万7,088円で、前年度と比べて1億3,867万2,845円の増、歳出221億7,859万3,439円で、前年度と比べて1億3,909万2,955円の増となりました。一般会計及び特別会計の総計内訳は次のとおりです。



諏訪広域連合は、平成12年7月の発足以来、諏訪地域6市町村と役割分担をしながら、経費節減や事務処理の効率化を図っています。

令和3年度介護保険事業計画基礎資料

高齢者等実態調査 結果概要

■ 調査の概要

この調査は、3年毎に見直しをしている介護保険事業計画（令和3年度から3年間は、どんな介護サービスが必要となるのか、介護保険料は何円にしなければならないかなどを決めます。）を立てるための基礎資料を得ることを目的とし、長野県と協力して実施したものです。

高齢者の皆さんの暮らしや介護の状況などについてご理解いただくため、調査結果の概要を公表いたします。

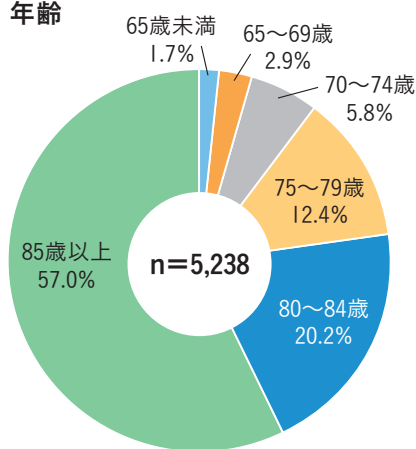
調査期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・令和元年11月29日 から令和元年12月25日まで
 居宅要介護・要支援認定者等実態調査・・要支援・要介護認定を受けていて在宅で生活されている方全員
 元気高齢者等実態調査・・・・・・・・・・要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方から抽出

	居宅要介護・要支援認定者等実態調査	元気高齢者等実態調査
配付数	8,023票	997票
回収数	5,238票	727票
回収率	65.2%	72.9%

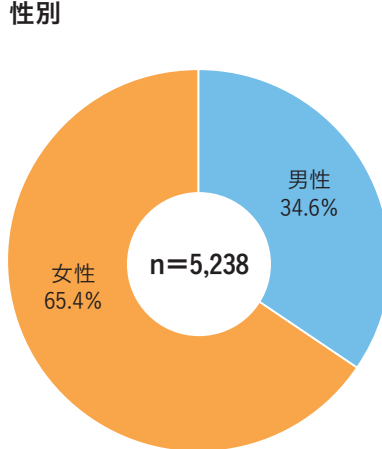
【居宅要介護・要支援認定者等（以下、「認定者等」といいます。）回答者の内訳】

※グラフのnは回答者数を表示しています。

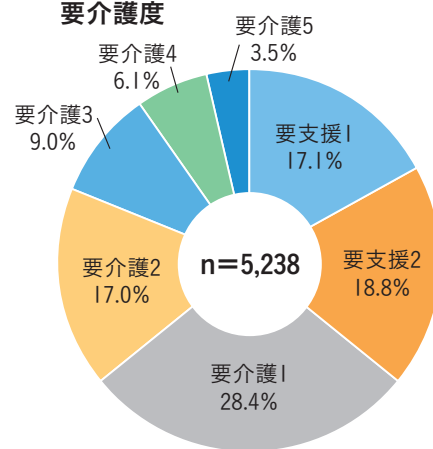
年齢



性別

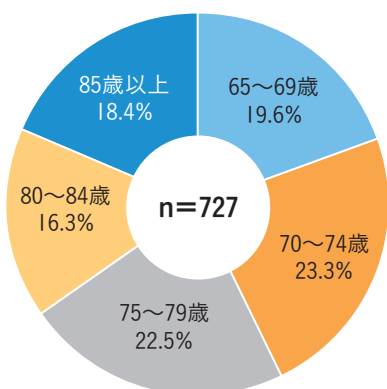


要介護度

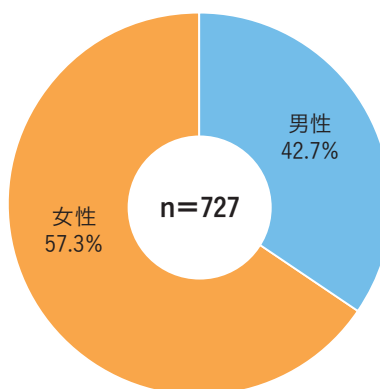


【元気高齢者等回答者の内訳】

年齢



性別



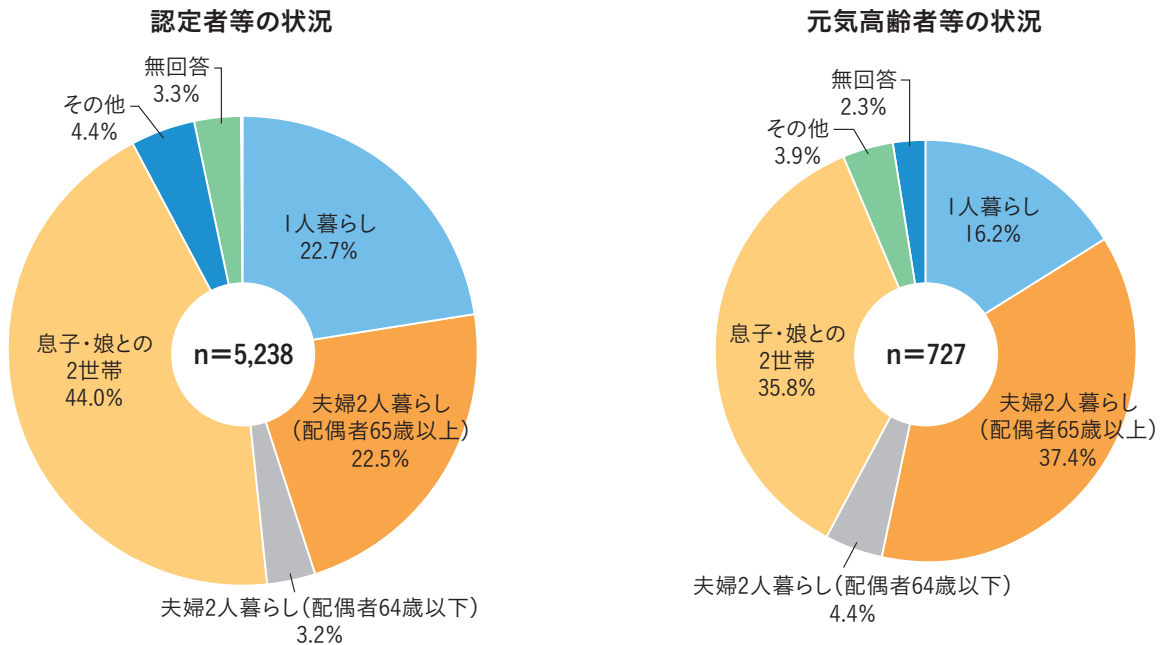
※比率はすべて百分比であらわし、小数点以下第2位を四捨五入しているため百分比の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答の設定では、無回答の方の割合を省略しています。

認定者等及び元気高齢者等共通

1 家族構成について

家族構成について、認定者等では2割以上の方が「1人暮らし」と回答しています。「夫婦2人暮らし」も2割以上おり、4割以上が高齢者のみ世帯となっています。元気高齢者等では、65歳以上の高齢夫婦のみ世帯が3割以上と高く、「1人暮らし」と合わせると5割以上が高齢者のみ世帯となっています。

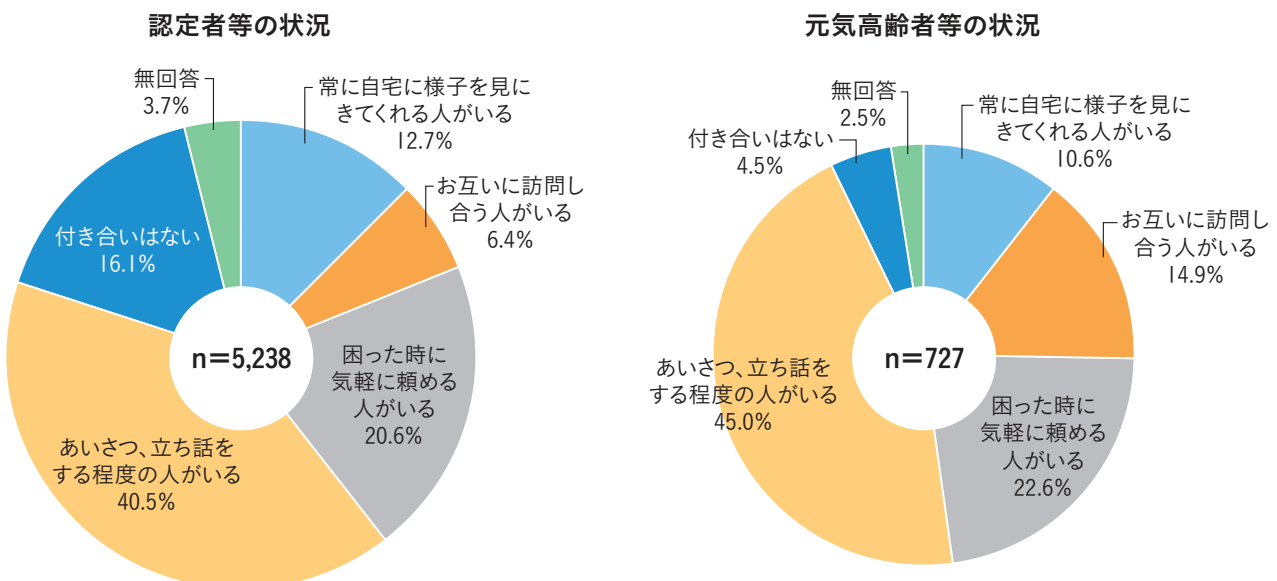
【家族構成】



2 近所の方とのつき合いの程度について

近所の方とどの程度のつき合いをしているかについては、「常に自宅に様子を見に来てくれる（電話をくれる）人がある」、「お互いに訪問し合う人がある」、「困った時に気軽に頼める人がある」など、いざというときに頼れる人があると回答した方は、認定者等で約4割、元気高齢者等でも5割以下にとどまり、「あいさつ、立ち話をする程度の人がある」または「つき合いはない」と回答した方は、認定者等と元気高齢者ともに5割を占めています。

【近所の方とのつき合いの程度】



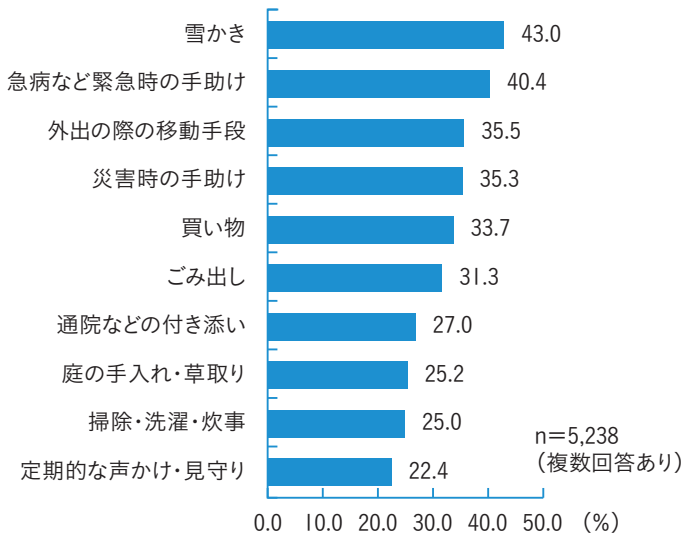
3 地域の人にしてほしい支援・地域の人に対してできる支援

認定者等に「ご本人やご家族が日常生活上の支援が必要になったとき、地域の人にどのような支援をしてほしいと思うか」について伺ったところ、「雪かき」が最も高く、次いで「急病など緊急時の手助け」、「外出の際の移手段」が続いています。

一方、元気高齢者等を対象に「隣近所に高齢者や病気等で困っている家庭があった場合、どのような支援ができると思うか」を伺ったところ、「ごみ出し」が最も高く、続く「定期的な声かけ・見守り」、「買い物」、「急病などの緊急時の手助け」も3割以上の方が回答するなど、「してほしい支援」の上位と多くの項目が重なっています。

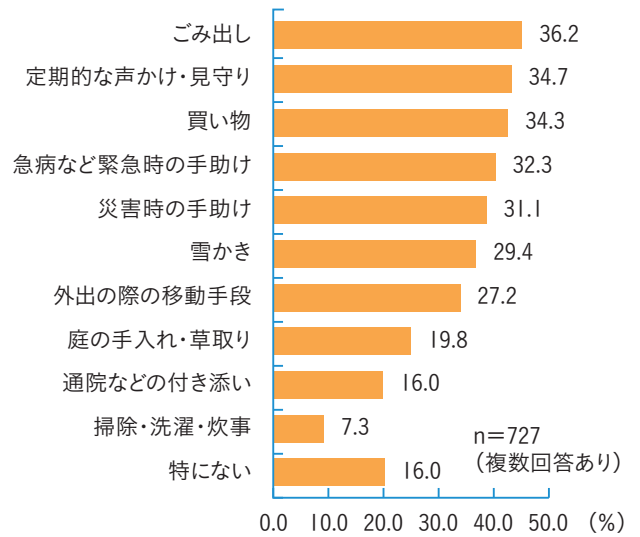
【地域の人にしてほしい支援(上位10項目)】

認定者等の状況



【隣近所や地域の人にできる支援(上位10項目)】

元気高齢者等の状況

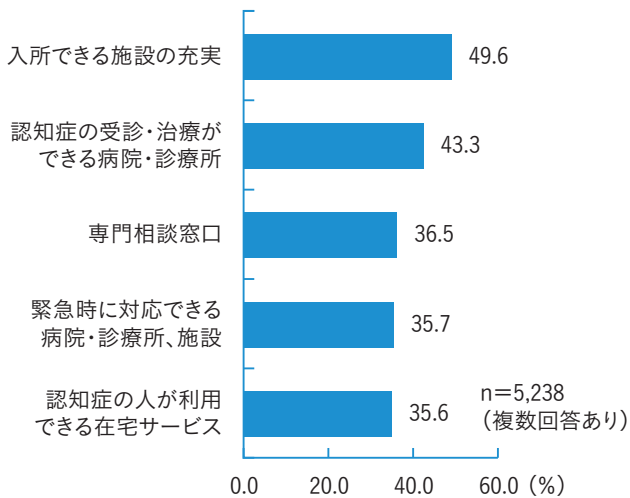


4 認知症について

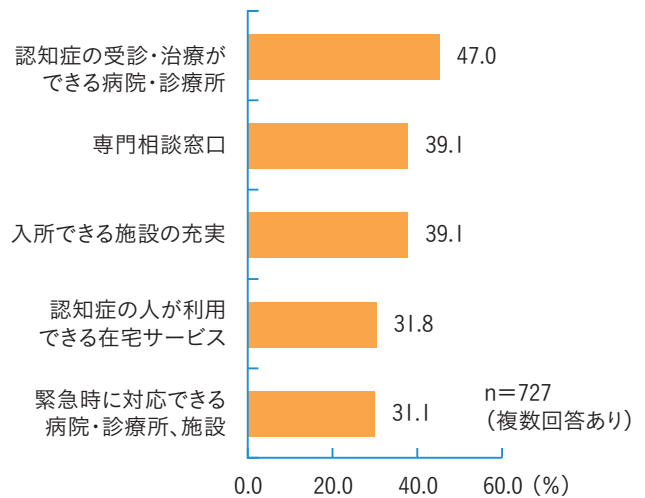
「どのようなことが充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができると思うか」について伺ったところ、認定者等では「入所できる施設の充実」が約5割と最も高く、元気高齢者等では「認知症の受診・治療ができる病院・診療所の充実」が5割近くと最も高くなっています。

【認知症になっても安心して暮らしていくために充実すべきこと(上位5項目)】

認定者等の状況



元気高齢者等の状況

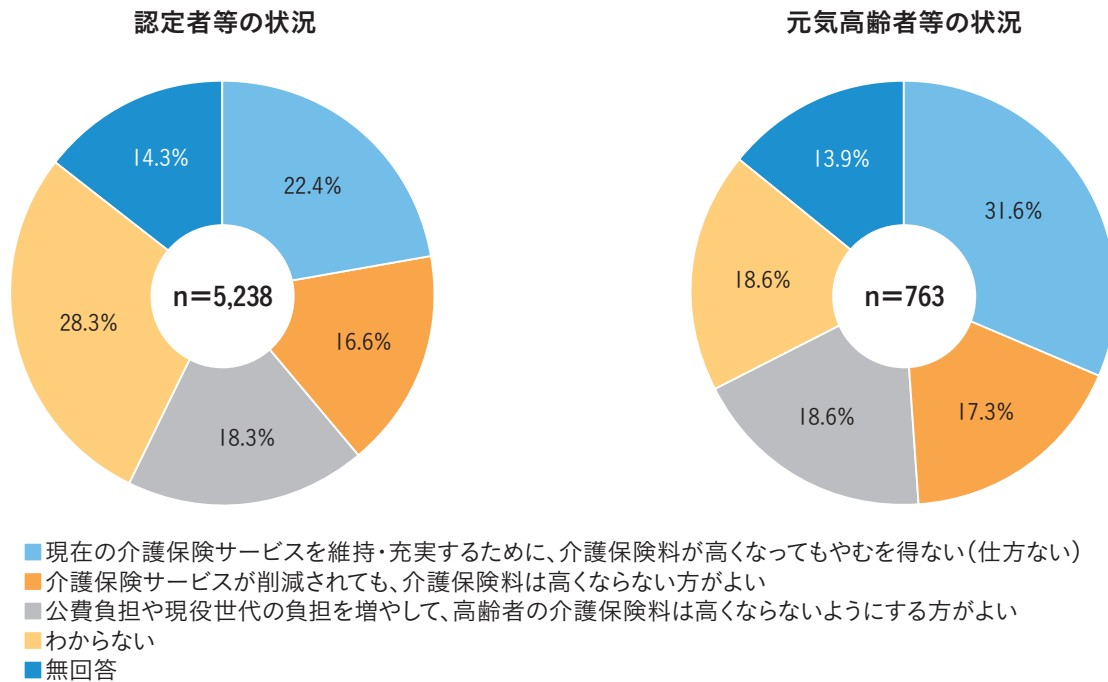


5 介護保険のサービスと保険料の関係について

介護保険料は、介護サービスを充実させるほど高く、逆に保険料を抑えれば介護サービスの水準が下がるという関係にあります。介護保険のサービスと保険料の関係についての考えをうかがったところ、認定者等では、「わからない」が約3割で最も高く、次いで「現在の介護保険サービスを維持・充実するために、介護保険料が高くなってもらむを得ない（仕方がない）」が続いています。

一方、元気高齢者等では、「現在の介護保険サービスを維持・充実するために、介護保険料が高くなってもらむを得ない（仕方がない）」の割合が最も高く、次いで「わからない」、「公費負担や現役世代の負担を増やして、高齢者の介護保険料は高くないようにする方がよい」がそれぞれ約2割で続いています。

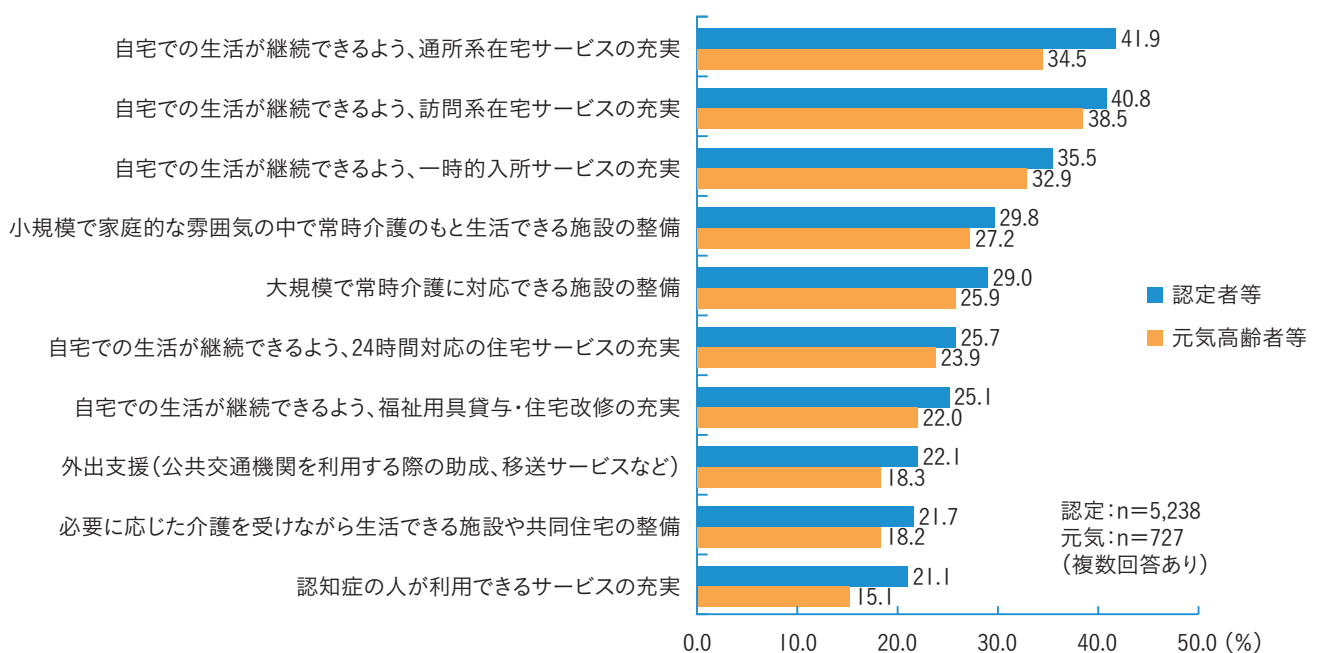
【介護保険のサービスと保険料の関係について】



6 今後、必要な介護・高齢者施策

行政に望む高齢者施策について、認定者等では、「自宅での生活が継続できるよう、通所系在宅サービスの充実」が最も高く、元気高齢者等では、「自宅での生活が継続できるよう、訪問系在宅サービスの充実」が最も高くなっています。認定者等、元気高齢者等ともに、上位10項目は同じ項目が入っています。

【今後、必要な介護・高齢者施策（上位10項目）】



新型コロナウイルスの感染状況により事業所への取材が行えなかったため今回は内容を変更してお届けします。

介護のお仕事のホット!

介護のお仕事の「魅力・やりがい」について
 諏訪広域介護フェスタ実行委員会の
 メンバーにお聞きしました!

いどう まさひろ
伊藤 正浩さん
 【岡谷市】愛の家グループホーム岡谷幸町



介護は、自分を成長させてくれる仕事です。相手の気持ちや、相手か何を望んでいるかを考え、それを実現させるためにその方の未来の姿を創造する。人のことを思うことが自分を人間として成長させてくれますし、とてもやりがいのある仕事です。

かたせ あゆみ
片瀬 あゆみさん
 【茅野市】ゆう



介護のやりがいは、「未来をつくる」と。年齢を重ねれば介護を受けることは普通になってきます。まだまだ発展途上の日本の介護で、「いい介護を安心・安全に受けられるから長生きしたい」と思えるサービスを目指しています。

やさしいまわかみや
やさしいまわかみやの皆さん 【岡谷市】



介護の仕事は、排泄の介助・食事介助・着替えの世話をする事も重要な仕事ですが、その方の人生に関わり、自立の支援をすることも重要な仕事になります。その方の生きてきた歴史から学んだりすることも、仕事のやりがいの一つです。

こばやし けい
小林 啓さん

【富士見町】富士見町社会福祉協議会
 (小規模多機能居宅介護 一本松の家)



地域の方やご利用者様が、その人らしく笑顔で過ごして頂くために何ができるか日々考えながら業務に励んでいます。地域の方やご利用者様の笑顔や感謝の言葉に日々励まされます。同時に自分自身の成長を感じさせてくれます。

よだ かつじ
依田 佑司さん

【岡谷市】イーセ岡谷



介護という仕事は未経験からのスタートだったので、最初は不安でいっぱいでした。しかし、利用者様との関わり合いで介護に携わっていくうちに自分でもできることが増えていき、今ではそれが働くことの嬉しさに繋がっています。

おぐち むるか
小口 未歩華さん

【岡谷市】さわかみの御信州おかわ



私は、今春に介護福祉専門学校を卒業し、介護の実務に初めて関わっています。当初は全てに緊張の連続でしたが、親切な先輩たちに囲まれ、今は少しか心に余裕ができました。ご入居者の笑顔が見られることにやりがいを感じながら、楽しく仕事をさせていただいています。

ニイマルニイマル

諏訪広域介護フェスタ2020

～行ってみよう！知ってみよう！

知って納得介護の仕事～

※開催延期と なりました

メンバーから提案多数！

予定の催し

- みチャオブース (展示・パネル)
- 作品・パネル展示、介護のお仕事のホント紹介…etc
- やっチャオブース (体操・健康)
- 健康チェック、運動・レクリエーション体操、自宅でできるセルフケア…etc
- ためしチャオブース (体験)
- 福祉機器・介護ロボットの展示、高齢者の疑似体験、認知症VR・マッスルスーツ体験、手洗いチェッカー、介護と遊び…etc
- さいチャオブース (相談)
- 介護・認知症・住宅改修相談…etc
- イベントコーナー
- ・映画「ケアニン」上映会、パネルディスカッション、来場者プレゼント (子ども用)、フォトコンテンツ、ヨーヨー釣り、バルーンアート…etc



介護フェスタ2020実行委員会 メンバー紹介

ゆう、イリーゼ岡谷、米沢の家・はなもも、愛の家グループホーム岡谷幸町、こころのひろば、グループホームひなたぼっこ、りんどう苑、かりんの里、さわやか絹の郷信州おかや、諏訪赤十字ホームヘルパーステーション、グループホームふさのとう、グレイスフル下諏訪、やさしい手わかみや、イリーゼ高島城、ふれあいの里、特定非営利活動法人ホープ、スマートケアタウン、ほがら家赤砂、諏訪湖畔病院、ニチイ学館岡谷支店、介護センター花岡、南信勤労者医療協会、ウイズ茅野、諏訪赤十字居宅介護支援事業所、和が家、ラ・ナシカチの、ケアマネゼロリ、カーサ・デ・ソル湖浜・諏訪湖、平成会、富士見町社会福祉協議会、和音、みよし家介護サービス、イリーゼセントベル諏訪湖、宮坂医院、富士見高原医療福祉センター、諏訪広域老人ホームの会、長野県介護福祉士会、諏訪地域6市町村、諏訪広域連合

多くの皆さまに参加いただいています！

活動の記録

○諏訪広域介護フェスタ2020実行委員会 結成

諏訪圏域内に所在する介護サービス事業者のうち、協力を申し出ていただいた皆さん、諏訪地域6市町村、諏訪広域連合による民公協同の団体として活動を開始。行政と民間の垣根を越えて一丸となって取り組んでいきます。

○第1回実行委員会 令和2年7月6日(月)開催

実行委員会の皆さんによる初めての顔合わせ。今後の方針について話し合い、会議後には当日の会場である『すわっチャオ!!』を見学しました。会議の場以外においても、メールやチャットツールを活用して情報共有

や検討を随時行っています。

一方で、今般の新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、感染が落ち着く時期まで『諏訪広域介護フェスタ2020』を延期すると決定いたしました。



新たに介護の仕事をはじめてみたい方へ

諏訪広域連合 介護保険課では、新たに介護の職場で働きたいと思っている方を対象に、相談窓口を設けています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

《介護のお仕事相談窓口》

諏訪広域連合 介護保険課 (茅野市役所6階)

☎ 0266-82-8162 (直通)

🕒 平日 午前8時30分～午後5時15分

諏訪広域連合では介護のイメージアップを目的として、「介護のお仕事のホント!」「諏訪広域介護フェスタ」に取り組んでいます。

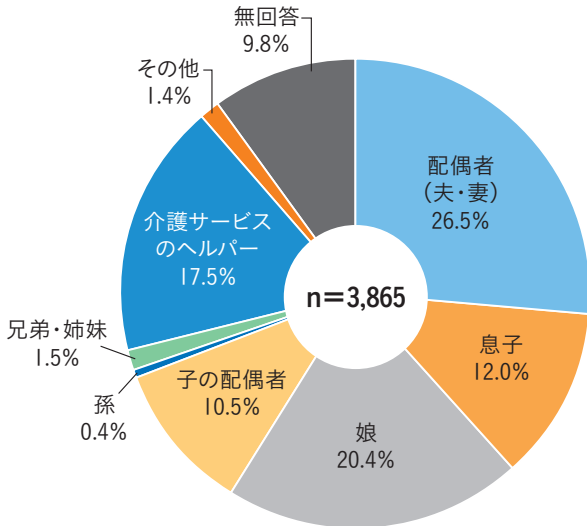
認定者等の状況

1 主な介護者について

主な介護者は、「配偶者（夫・妻）」が約3割、「娘」が2割、「子の配偶者」と「息子」がそれぞれ約1割となっています。

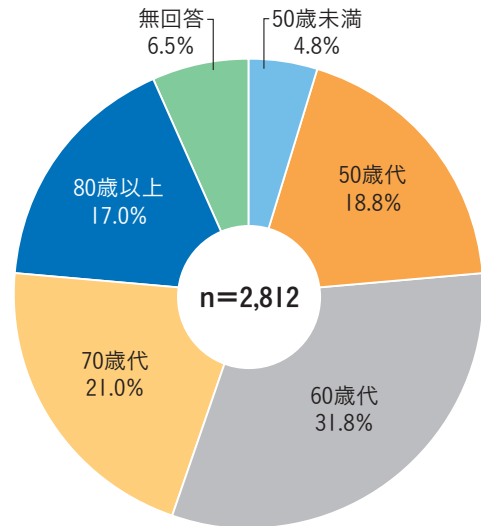
介護者の年齢をみると、「60歳代」が3割以上で最も高く、「70歳代」、「80歳代」も合わせて約4割を占めており、老老介護の割合が高いことがわかります。

【主な介護者】



【主な介護者の年齢】

主な介護者の介護サービスのヘルパー、無回答を除く

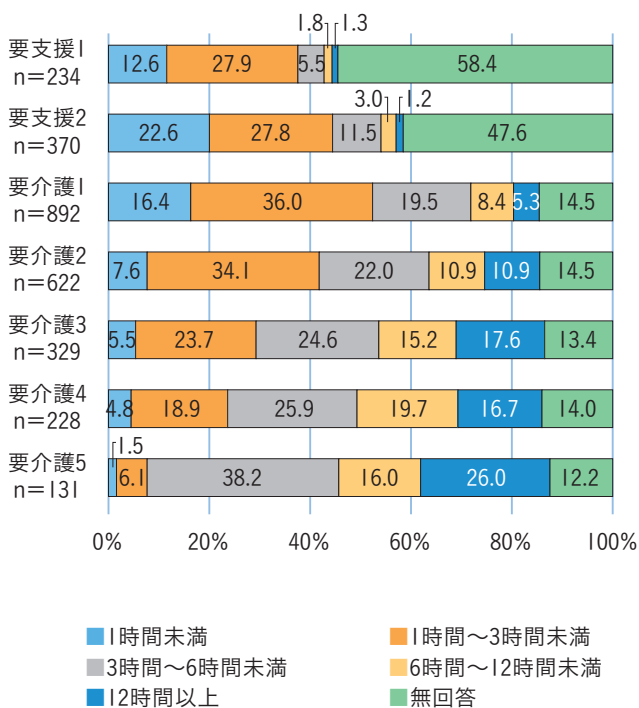


2 主な介護者の状況

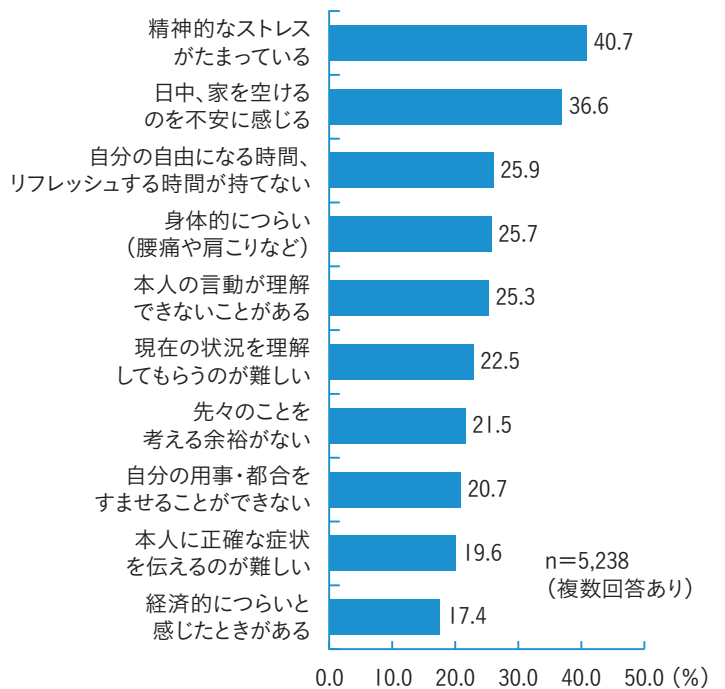
主な介護者に1日当たりの介護にかかる時間を伺ったところ、介護度があがるにつれ介護にかかる時間も長くなり、要介護5では、2割以上の方が12時間以上介護していると回答しています。

介護する上で困っていることとしては、「精神的なストレスがたまっている」と回答した方の割合が最も高いほか、「日中、家を空けるのを不安に感じる」、「自分の自由になる時間、リフレッシュする時間が持てない」等が上位にきており、精神面での負担が大きくなっている状況がうかがえます。

【主な介護者が介護にかけている時間】



【介護する上で困っていること(上位10項目)】

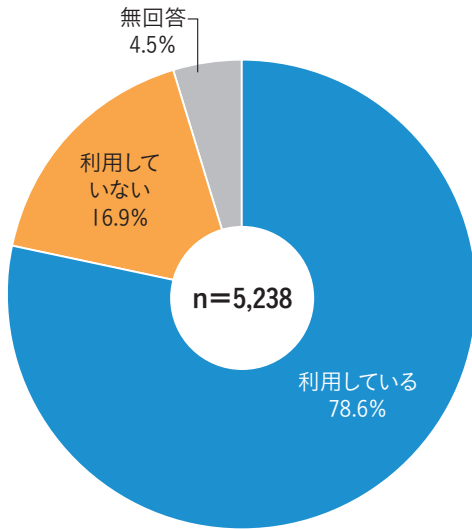


3 介護保険サービスの利用状況

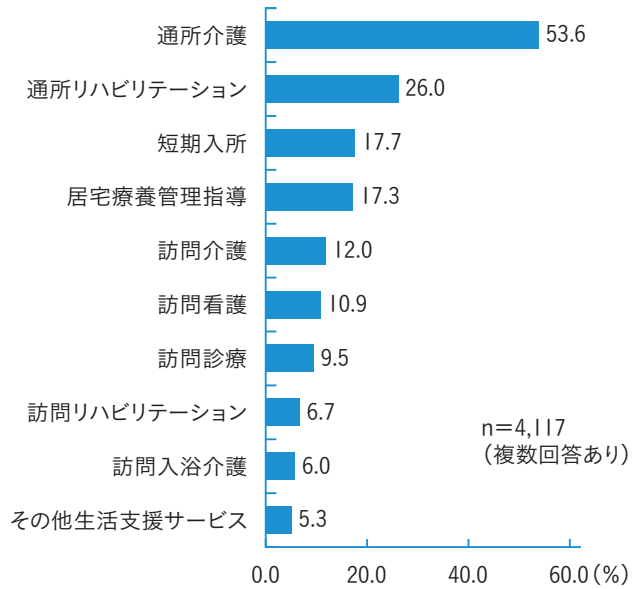
現在、介護保険サービスを利用しているかについては、8割近くの方が「利用している」と回答していますが、「利用していない」方も2割近くいます。

利用している在宅サービスでは、「通所介護（デイサービス）」が5割以上と最も高く、次いで「通所リハビリテーション（デイケア）」、「短期入所（ショートステイ）」、「居宅療養管理指導」と続いています。

【介護保険サービスの利用状況】



【利用している在宅サービス(上位10項目)】

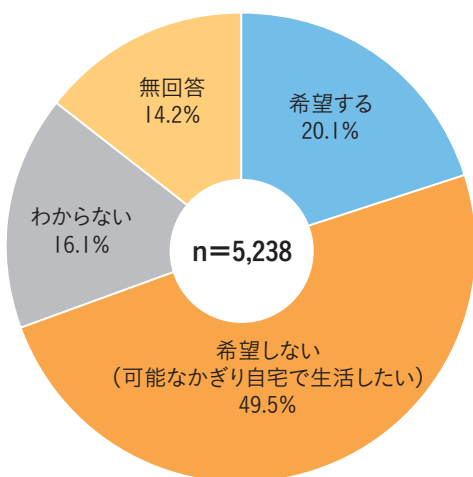


4 施設等への入所希望

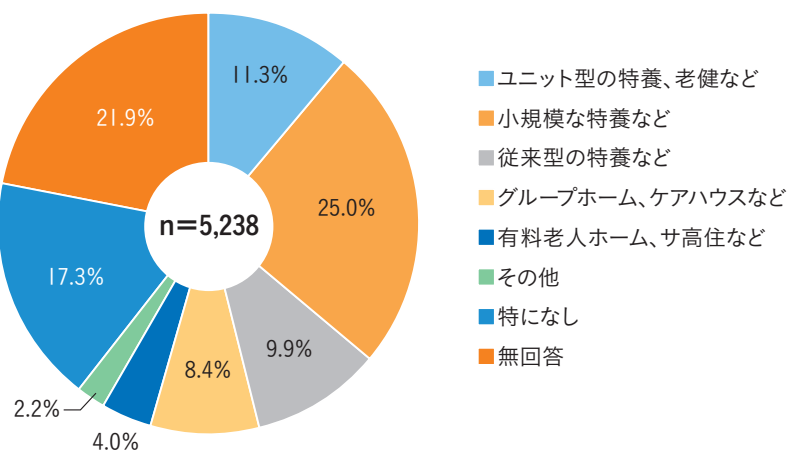
自宅以外の「施設」や「高齢者向けの住まい」への入所（入居）希望の有無について、施設等への入所を「希望する」方は2割にとどまり、約半数の方が「希望しない（可能な限り自宅で生活したい）」と回答しています。

また、自宅での生活が困難になった場合に、もっとも希望する施設の形態を伺ったところ、「自宅近くで常時介護が受けられる小規模で家庭的な個室の施設（小規模な特養など）」が2割以上で最も高くなっています。

【施設等への入所希望】



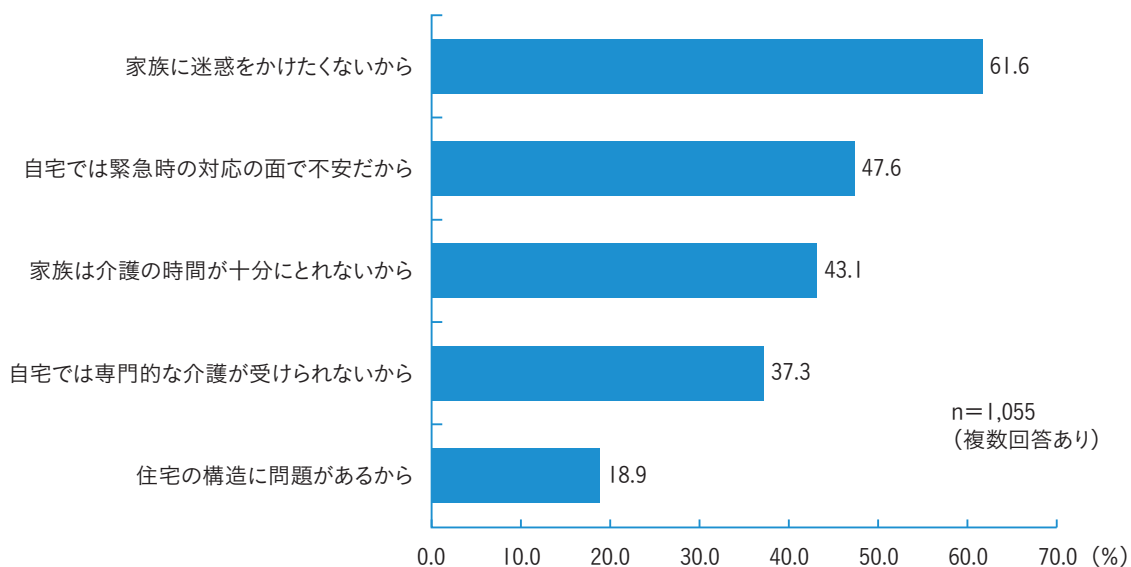
【もっとも希望する「施設」や「住まい」の形態】



施設等への入所（入居）を希望すると回答した方に、その理由を伺ったところ、6割以上の方が「家族に迷惑をかけたくないから」と回答しています。次いで「自宅では緊急時の対応の面で不安だから」、「家族は介護の時間が十分にとれないから」が続いています。

【施設等での生活を希望する理由（上位5項目）】

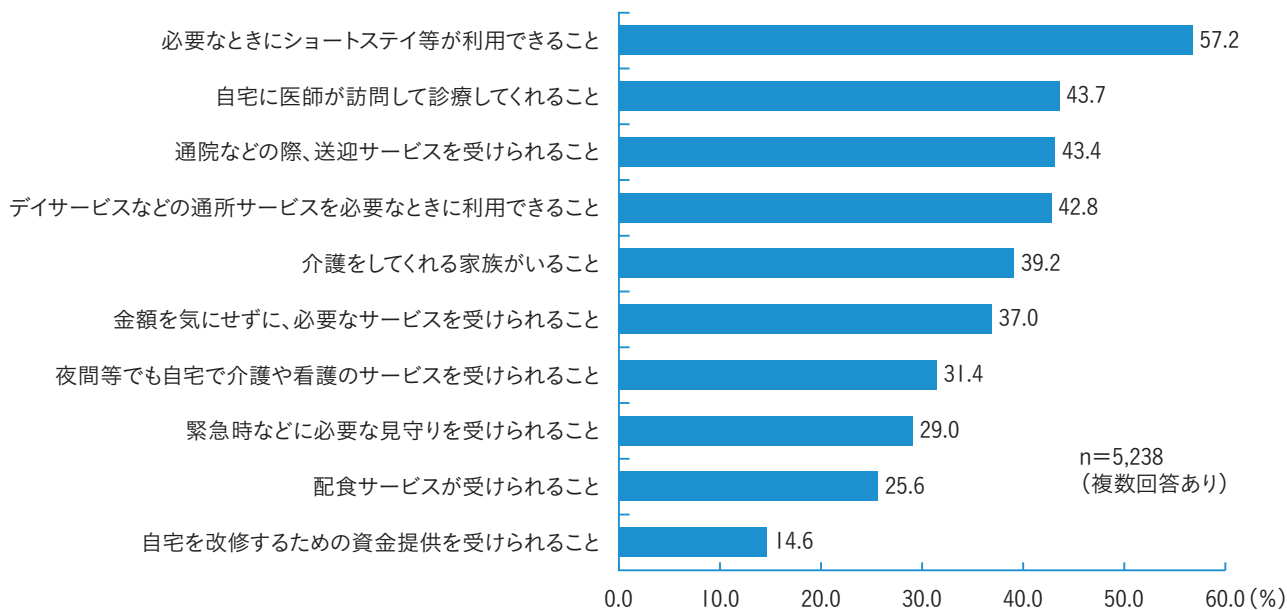
施設等への入所を「希望する」方のみを対象



5 自宅で暮らし続けるためにあればいいと思う支援

ずっと自宅で暮らし続けるためには、どのような支援があればいいと思うかについて、約6割の方が「緊急時など、必要なときにショートステイや宿泊サービスが利用できること」と回答し、他の項目と比べても高い割合となっています。以下、「自宅に医師が訪問して診療してくれること」、「通院などの際、送迎サービスを受けられること」、「デイサービスなどの通所サービスを必要なときに利用できること」の順となっています。

【自宅で暮らし続けるためにあればいいと思う支援（上位10項目）】

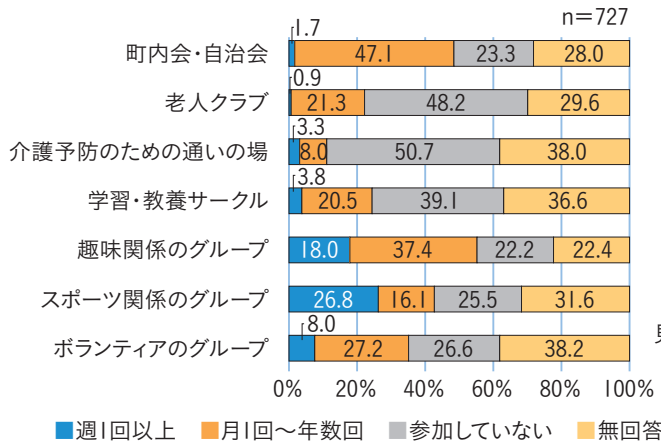


元気高齢者等の状況

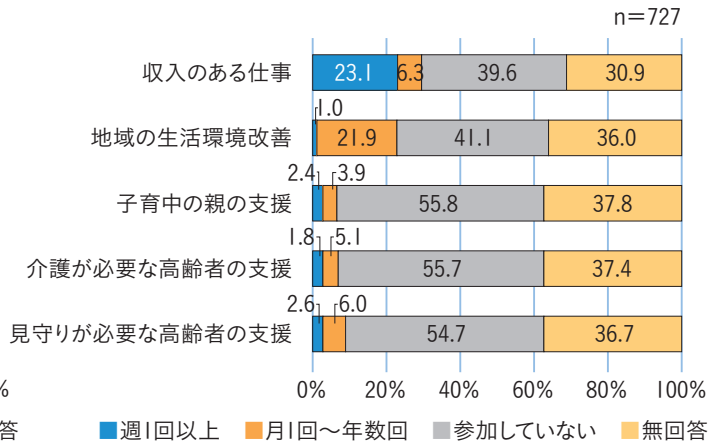
1 社会参加の状況

地域の会やグループ、社会参加活動などへの参加頻度について伺ったところ、すべての活動で「参加していない」と「無回答」が約半数以上を占めています。その中で、「趣味関係のグループ」及び「町内会・自治会」は、参加している人が3割以上と比較的高くなっています。また、「収入のある仕事」、「スポーツ関係のグループ」、「趣味関係のグループ」は、「週1回以上」の割合が他と比べて高く、参加・活動の頻度が高い活動といえます。

【地域の会やグループへの参加頻度】



【社会参加活動や仕事の活動頻度】

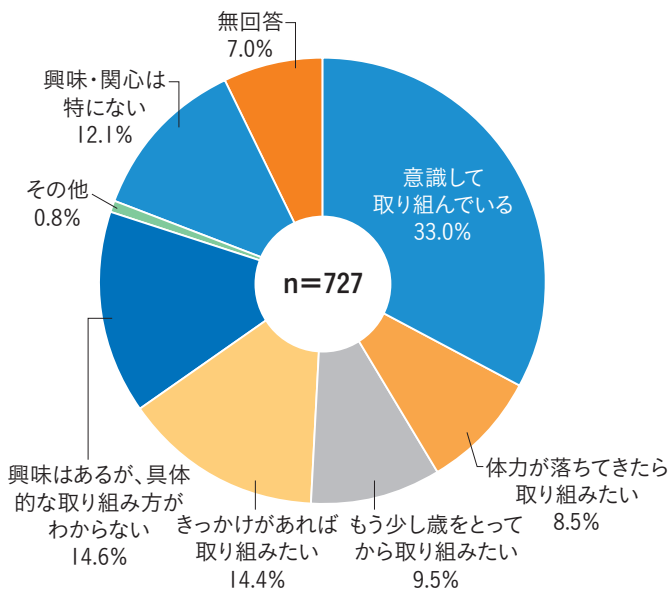


2 介護予防

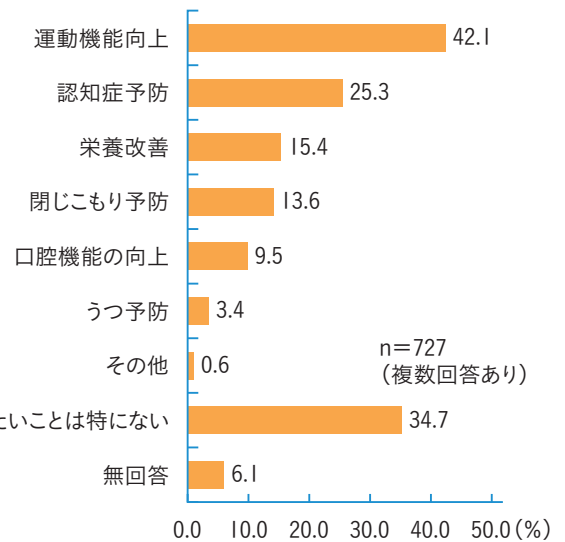
介護予防への取り組みについては、「意識して取り組んでいる」方は3割程度にとどまり、「きっかけがあれば」、「具体的な取り組み方がわからない」など、現時点で取組意向はあるものの、できていない方も3割近くとなっています。

今後参加してみたい介護予防事業については、「運動機能向上のための教室」が4割近くで最も多く、次いで「認知症予防のための教室」を2割以上の方が選んでいます。

【介護予防への取り組み】



【今後参加してみたい介護予防事業】



諏訪広域連合では、今回の調査結果を踏まえ、第8期介護保険事業計画を策定していきます。諏訪広域連合の介護保険事業や介護保険事業計画に関するご意見ご要望等がございましたら、諏訪広域連合介護保険課または、最寄りの市町村の介護保険担当課までお寄せください。

なお、より詳細な集計結果につきましては、諏訪広域連合ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

問 諏訪広域連合介護保険課
 長野県茅野市塚原二丁目6番1号（茅野市役所内）
 ☎ 0266-82-8161
 FAX 0266-71-2071

諏訪広域連合ホームページ
<http://www.union.suwa.lg.jp/>



●長野県消防学校 初任科第63期卒業式

令和2年9月19日(土)に、諏訪広域消防本部の新人消防士8名が、約6ヶ月にわたる厳しい初任科教育を修了し、無事に卒業式を迎えました。初任科教育は、新人消防士を対象に、消防に関する知識や技術の習得、気力や体力の錬成を図り、現場活動等に即応できる消防士を養成します。



危険物の取り扱いに 注意してください

12月に入り、気温も一気に下がってきました。ご家庭においてもストーブ等の暖房器具を使用する機会が増えているのではないのでしょうか。同時に、この時期は暖房器具による火災が増加し、その原因の多くは使用方法の誤り不注意によるものです。

灯油の注油時には目を離さないようにしましょう!

一般家庭での灯油の流出事故の多くは、灯油タンクから注油中にその場を離れ、あふれさせてしまったなど、ちょっとした不注意から発生しています。灯油タンクからポリタンクへの注油中は、その場を離れず、注油後にバルブをしっかりと閉めてください。



危険物施設の定期点検をしましょう!

工場など、危険物許可施設での流出事故のほとんどが、地下配管の腐食、破損や施工不良により発生しています。施設の日常点検や定期点検を行い、取扱う際の基本動作や、知識を再確認してください。



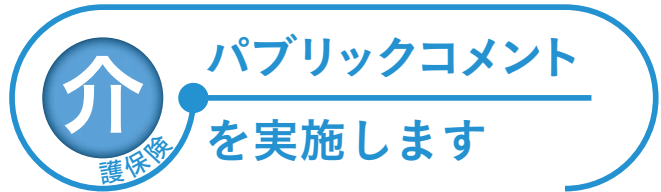
危険物を流出・発見した場合次のことを行ってください。

- ①流出箇所の確認
- ②流出箇所の元(バルブなど)を閉じる
- ③流出した油の拡大防止と回収
- ④消防署、市町村(環境関係課等)への通報

※危険物の流出は、河川や土壌の汚染につながりますので、取り扱いには十分な注意をお願いいたします。



河川流出した危険物を吸着材で回収の様子



パブリックコメント を実施します

令和3年度からの 介護保険事業計画を策定しています

諏訪広域連合では、介護保険制度の運営を計画的に行うため、令和3年度から令和5年度を計画期間とする「第8期介護保険事業計画」の策定を進めています。

事業計画には、計画期間における介護サービスの必要量の確保や、第1号被保険者の基準となる保険料額等を定めます。

計画の策定は、医療・保健・福祉の関係団体の代表者と、被保険者を代表する諏訪地域6市町村の方々と構成する「介護保険委員会」を中心に検討いただいております。

より多くの皆さんから幅広い意見や要望をいただき、事業計画に反映させるため、諏訪広域連合では事業計画(素案)に対するパブリックコメントを実施^(※)いたします。

募集期間は、令和2年12月18日(金)から令和3年1月15日(金)までとなります。

事業計画(素案)と関連資料につきましては、諏訪広域連合ホームページに令和2年12月18日(金)までに掲載いたします。

事業計画(素案)に対するご意見やご要望等がございましたら、電子メールまたはFAXでお寄せください。

※パブリックコメントとは、広く公に、意見や改善案を求めることをいいます。

問 諏訪広域連合介護保険課
電子メール: kaigo@union.suwa.lg.jp
FAX: 0266-71-2071

諏訪広域連合ホームページ
http://www.union.suwa.lg.jp/kaigo/jigyo_keikaku/



危険物安全週間推進標語

訓練で

確かな信頼

積み重ね

問 諏訪広域消防本部 予防課
☎ 0266-21-5119 FAX 0266-21-2119

有料広告欄

広告掲載のお問い合わせは、
企画総務課企画係まで。
☎ 0266-52-4141(375)

開催総数
第117回

一人暮らし、夫婦世帯「老後の不安を安心に」
親族に頼らず生きていく選択

私たちは平成28年長野県より特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を受けた団体です。会員契約を結び、病院・福祉施設・賃貸住宅などへの入院または入居をする際の身元保証、それに伴う様々な生活支援や金銭管理、さらには緊急時の支援から葬儀・納骨・死後の諸手続きまで、専門スタッフ(弁護士・司法書士・行政書士など)と協働し、相談及び支援を行っています。

医療・福祉・介護・行政機関または、身元保証等でお困りの主に高齢者からのご相談も受け付けています。

NPO法人 日本よりそい家族会

【本部】上田市中央西二丁目6-7 グリーン1階2号
【北信事務所】長野市大字石渡 107-17

【要予約】0120-12-8851

セミナー開催 ※新型コロナウイルス感染症の影響で内容が変更・中止になる可能性があります。

令和3年 **2月2日** 火 [受付]午後1時30分
[時間]午後2時~4時

会場: 諏訪市文化センター
第三集会室(2階)

資料代: 300円
講師: 丸山 美菜
(日本よりそい家族会 常務理事)

● 令和2年度 救急功労者表彰

令和2年9月9日(水)に、東京都において、医療法人創仁会 そうじんかい 今井整形外科理事長 いまい ともひこ 今井 智彦 先生(岡谷市医師会長、諏訪地域メディカルコントロール協議会副会長)が、平素から救急業務の推進に貢献し、社会公共の福祉の増進に顕著な功績があった個人及び団体を表彰する「救急功労者表彰」の総務大臣表彰を受賞しました。



いまい ともひこ
今井 智彦 先生 (写真右)

今井先生は、地域医療の第一線で多くの患者の治療に当たる一方、地域救急医療のけん引者として時間を要する交通事故や大規模イベントでの災害発生時に現場へ赴き、救急業務の円滑な推進に尽力されました。

また、消防・警察・医療の垣根を越えた先進的な取組が、全国メディカルコントロール協議会連絡会で高く評価され、最優秀賞を受賞するなど、地域救急医療の高度化にも貢献されました。令和2年度の救急功労者表彰は、全国で個人表彰14名及び団体表彰2団体が表彰されました。

救急功労者表彰(総務大臣表彰)とは

客観的に卓越した医学的知見を有し、生業の他に、15年以上にわたり救急業務の推進に多大な貢献した個人や団体が対象とされます。各市町村のため、救急隊員の教育や、消防機関の行う救急業務に関する委員会の運営に尽力し、救急業務の推進に特に顕著な功績があったことについて表彰されます。



表彰の様子



たかいち さなえ
高市 早苗 総務大臣

● 第4回 諏訪広域消防本部 救急技術発表会

令和2年9月9日(水)、諏訪広域消防本部2階講堂において、傷病者の病態に応じた迅速な観察と適切な処置能力向上を目的として、救急技術発表会を開催しました。

今年で4回目となる発表会では、実観察で知り得る状態を呈示し、より実践的な想定で訓練を行い、時間管理の徹底や関係者への接遇にも配慮できる能力を養う等、隊員の資質の向上を図りました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、実施隊のみの参加とし、最小限の職員で開催しました。



心筋梗塞の想定訓練に取り組む救急隊員



● 長野県警察本部山岳安全対策課等と合同で山岳救助訓練を実施(特別救助隊)

令和2年9月18日(金)、23日(水)、28日(月)の3日間、岡谷市の高尾山において、長野県警察本部山岳安全対策課、茅野警察署山岳救助隊及び諏訪広域消防特別救助隊が、合同で山岳救助訓練を実施しました。

この訓練は、近年多い登山中の事故への確に対応するため、実際の事故現場を想定した岩場で行うものです。山岳救助技術のエキスパートである長野県警察本部山岳救助隊員から助言をもらい、救助技術や知識の向上を図ることができました。

今後も地域特性を考慮した訓練を重ね、住民の安全・安心の確保に努めます。



急斜面の岩場で想定訓練に取り組む特別救助隊員

